



公立大学法人 和歌山県立医科大学

学部案内

- 保健看護学部
- 大学院保健看護学研究科 博士前期課程／博士後期課程
- 助産学専攻科

大学の教育理念

和歌山県立医科大学は、医学、保健看護学及び薬学に関する基礎的、総合的な知識と高度で専門的な学術を教授研究するとともに、豊かな人間性と高邁な倫理観に富む資質の高い人材を育成することにより、和歌山県の医療、保健の充実を図り、もって文化の進展と人類の健康福祉の向上に寄与する。

1804年、医聖華岡青洲が、曼陀羅華を主成分とする麻酔薬「通仙散」を完成させ、乳がん摘出手術を成功させました。



新しいことに挑戦する心を常に持ち、既存の知識や技術を発展させることができる医療人を目指しませんか。

沿革

平成8年4月 和歌山県立医科大学看護短期大学部開学

平成16年4月 保健看護学部開設

平成19年3月 看護短期大学部閉学

平成20年4月 大学院保健看護学研究科修士課程及び助産学専攻科開設

平成25年4月 大学院保健看護学研究科博士後期課程開設

平成26年4月 大学院保健看護学研究科がん看護専門看護師コース開設

contents

大学の教育理念・沿革	1	取得できる学位・資格	18
学長・学部長メッセージ	2	大学院保健看護学研究科教育プログラム	19
保健看護学部教育プログラム	3	大学院生メッセージ	21
キャンパスカレンダー	12	助産学専攻科教育プログラム	22
キャンパスライフ	13	修了生メッセージ	24
クラブ紹介	15	学生サポート	25
社会で活躍する卒業生	17	三葛キャンパスマップ	26



医療系総合大学で学ぶ全人的看護

和歌山県立医科大学保健看護学部は1996年に開学した看護短期大学部を前身とし、2004年4月に4年制大学として開設されました。2008年には、助産学専攻科および保健看護学研究科博士前期課程(修士課程)、2013年には後期課程(博士課程)が設置され、さらに2014年には博士前期課程の中になん看護専門看護師コースを開設し、保健看護の実践、教育、研究において、より専門性の高い看護系の大学として大きく発展してきました。

保健看護学部は、豊かな人間性と高邁な倫理観を育むと同時に高度な専門的知識と技術を教授し、多様化、高度化する医療の現場での質の高い看護はもとより、地域の保健・福祉ニーズに応えることができる人材の育成を目指します。そのために、生命の尊厳を基盤にした豊かな人間性の涵養、個人を尊重し、信頼関係を築くコミュニケーション能力の育成、さらに科学的思考力と技術に基づいた実践力を培います。

また、本学は2021年4月には3つ目の学部として薬学部が開設され、医・看・薬の3学部から成る医療系総合大学となりました。医療系総合大学の特徴を生かして行っている3学部合同ケアマインド教育では、医療人としての知識・技能の修得のみならず、病める人の立場で考えられる医療人となるための豊かな心の涵養を図ります。そして、3学部の多職種連携教育を通して、職種間の相互理解と患者中心の医療を行うための基本的な考え方を学習します。

本学は医療系総合大学として、地域を支え、世界に挑戦し、未来の医療を築く医療人の育成を目標に掲げています。そして、保健看護学部では学生一人一人の自主的な学びを重視し、幅広い教養と倫理観に基づく全人的な看護の精神を身に付けられる充実したカリキュラムを整えています。和歌山県立医科大学保健看護学部で一緒に学びましょう。



和歌山県立医科大学
理事長・学長
中 尾 直 之

共に人々の健康を支える保健看護職を目指そう

本学の保健看護学部は、1996年に開学した看護短期大学部を前身として、2004年に4年制大学として開設されました。設置の目的は「多様化、高度化する健康・福祉ニーズに応えることができる資質の高い保健看護専門職を育成し、この分野に関する県下の教育・研究・研修において、地域の中核機関として役割・機能を果たし、もって地域社会の健康・福祉の向上と人類の健康文化の進展に寄与すること」です。設置から20年が経ち、現在、多くの卒業生が保健看護職として活躍しています。活躍の場は、病院や訪問看護ステーション、都道府県や市町村、企業、福祉施設等、保健・医療・福祉のあらゆる場にいます。養護教諭として学校で子どもたちの健康管理に努めている方もいます。

さらに保健看護の実践・研究を深めたい人には、助産学専攻科と保健看護学研究科博士前期・後期課程が用意されています。修了生は専門職として活躍し、地域の保健・医療・福祉の質向上に努めています。大学教員として教育・研究に携わっている方もいます。

保健看護職は人々の健康とウェルビーイング(well-being)の促進を目指し、たゆまぬ努力をしています。そのためには、主体的に学ぶことが大切です。本学では、主体的に学べるように、初年次には自ら課題を発見し学習していけるように少人数で学べる教養セミナーを実施しています。また、学生の自主性を重視した学生自主カリキュラムという学習支援もあります。そして、より良い看護を行うには、相手を大切に思い、全人的に理解していく必要があります。ケアマインドを培い、幅広い教養と知識が身につけられる充実したカリキュラムを用意しています。さらに、国際的に活躍できるようにグローバルな視点も大切にし、国際交流活動のプログラムにも力を入れています。

共に人々の健康を支えるために保健看護学を学んでいきましょう。



保健看護学部
学部長
水 田 真 由 美

教育理念

豊かな人間性、高邁な倫理観を育み、先進的、高度な専門的知識と技術を教授し、科学・技術の進展と、健康・福祉に関する社会の要請に柔軟かつ創造的に対応でき、保健看護の実践、教育、研究など広い分野での活躍が期待できる資質の高い人材を育成します。

教育目標

生命の尊厳と幅広い教養を基盤にした
豊かな人間性と高邁な倫理観の涵養

個人を尊重し、全人的理解と信頼関係を築く、
優れたコミュニケーション能力の育成

種々の関連職種とチームワークができる
協調性に富む人材の育成

科学的思考力、高度な専門的知識と技術に
基づいた実践力と創造力の育成

生涯にわたり自己啓発し、社会の多様な
ニーズに対応できる人材の育成



アドミッションポリシー (入学受入方針)

■ 保健看護学部は次のような学生を求めています。

1. 科学的探究心と豊かな人間性・高邁な倫理観を希求する人

保健看護学を志す人には旺盛な科学的探究心とともに、深い人間性と高い倫理観が必要です。豊かな感性と高邁な人間性をつねに求め、利他の精神を忘れることなく社会と深く関わり、高い倫理観を磨こうと努める人を求めます。

2. 保健看護学を修得するための幅広い能力を有する人

保健看護学の修得には自然科学のみならず、人文科学と社会科学の修得も必要です。そのためには、高等学校で学習する全科目にわたって基礎的な学力を身につけていなければなりません。それに立脚し、自然・人間・社会に関する幅広い理解と知識を獲得しようとする向学心と問題解決能力を持つ人を求めます。

3. コミュニケーション能力と指導力を備えた協調性の高い人

卒業後は医療チームの一員として、患者やご家族と良好な人間関係を築く能力が必要になります。医療人として高邁な理念を堅持するとともに、他者との協調関係を築くために、指導力を発揮できる人を求めます。

4. 地域医療に関心があり、国際的視野を希求する人

本学は県民の医療を支えるとともに、国際的にも活躍できる医療人を育成します。人間への深い関心に根ざして、地域医療への奉仕に励むとともに地球規模で医療を俯瞰し国際社会で活躍する医療人になることをめざす人を求めます。

5. 生涯にわたって自立と自律をめざす人

学修の機会を与えられたことに対して将来、社会に貢献するという働き方を志し、生涯にわたって自立・自律しながら自己研鑽を積むことをめざす人を求めます。



カリキュラムポリシー (教育課程方針)

1. 教育課程編成

ディプロマポリシーに掲げる知識と能力を修得するために、「教養と人間学の領域」「保健看護学の基盤となる領域」「保健看護学の専門となる領域」の3領域の構成で、専門分野の枠を超えた横断的・統合的な教育を提供します。人々の生活に焦点を当て、保健・医療・福祉を包括的に学べる教育を行います。



2. 教育内容・方法

- 1) 「教養と人間学の領域」では、社会人として必要な自然科学、人文・社会科学および外国語に関する教養を修得できる教育を行います。また、医療人として必要な倫理観、共感的態度、コミュニケーション能力、ケアマインドを培えるよう、少人数グループによる課題解決型学習を含む教育を行います。
- 2) 「保健看護学の基盤となる領域」では、系統的に生体の構造と機能、病態、疾患の概念が理解できるとともに、問題解決能力と研究的思考の基盤を築けるような教育を行います。
- 3) 「保健看護学の専門となる領域」では、人間を理解し、あらゆる状況に柔軟に対応し、的確な判断能力と問題解決能力を養える教育を行います。また、臨地実習においては、保健看護の実践能力を獲得できる教育を行います。さらに、地域との交流および国際交流を積極的に行い、広い視野をもち、地域社会および国際社会で活躍できる人材となれる教育を行います。

3. 学修成果の評価方法

シラバスに記載された学修目標について、授業中の小テストや発表、レポート、筆記試験、実技試験などの多面的な評価方法により、それぞれの到達状況を客観的に評価します。

ディプロマポリシー (学位授与方針)

- 幅広い教養を身につけ、多様な文化や価値観を理解し、人々の尊厳や権利を尊重することができる。
- 看護の対象となる人々と信頼関係を築くコミュニケーションができ、援助関係を形成することができる。
- 看護の対象となる人々を、生活者として全人的に捉え、個人・家族や地域の健康課題を明らかにすることができる。
- 看護実践に必要な知識や技術を習得し、根拠に基づく判断の上、健康課題の解決に取り組むことができる。
- 保健医療福祉チームの一員として看護職や他職種・地域住民等と協働・連携を図るために主体的に行動できる。
- 地域的・国際的視野で社会の動向とともに変動する多様な健康課題を捉え、看護の役割や課題を検討し、看護の発展に向けて創意・工夫することができる。
- 看護専門職としての自覚を持ち、生涯にわたって主体的に自己研鑽や研究に取り組む自律的態度を身につけている。



カリキュラムの特徴

充実した教養、基礎教育

保健看護職には、全人的な人間の理解に基づいた人への思いやりや優しさが必要です。「教養と人間学の領域」では、学習意欲にあふれ、倫理的で思いやりのある人材を育て、豊かな人間性及び優れたコミュニケーション能力の育成を目的としています。個々の学生の様々な関心に対応できるように、選択履修科目を多数取り入れています。

人間理解を深め、人々の健康を 支援するための基盤を形成

「保健看護学の基盤となる領域」では、保健看護学の土台となる「人間と生命倫理」「保健と福祉」「健康と病態」を学び、保健看護専門職の基盤を形成することを目的としています。

問題解決能力、判断力、研究 能力を育てる専門教育

人間を理解し、あらゆる状況に柔軟に対応できるように、洞察力、問題解決能力、判断力などを身につけることを目的としています。授業は、講義だけでなく、演習や実験、実習等を取り入れ、少人数による学習を積極的に取り入れ、体験的・自主的に学習できるように工夫しています。

保健・医療・福祉の包括的学習

人々の生活に視点を当て、保健・医療・福祉を包括的に学べるようにしています。実習では、暮らしを通じて学習できるように、病院のみでなく、保健センター、訪問看護ステーション、助産院、保育所、企業、介護老人保健施設などで実習できるようにしています。

医療入門（ケアマインド教育） 1年次



医学部、薬学部の学生とともに患者・家族の立場から物事を考えられる視点を養います

教養セミナー 1年次



写真やキーワードから連想を広げ、自ら問題を発見し、情報収集と思考鍛錬を行う少人数ゼミです

基礎看護実習Ⅱ 2年次



対象者が安全・安楽に診療を受けられるように、基礎的知識・技術を学びます



授業科目

「教養と人間学の領域」「保健看護学の基盤となる領域」「保健看護学の専門となる領域」の3領域で構成され、専門分野の枠を超えた横断的・統合的な学習ができるようにしています。

和歌山県立医科大学保健看護学部カリキュラム

分野	1年次	2年次	3年次	4年次
保健看護学の専門となる領域	総合保健看護	保健看護研究 I 保健看護管理理論 保健看護研究 II 保健看護管理演習 国際保健論 保健看護英語 看護教育論	保健看護研究 I 保健看護管理理論 保健看護研究 II 保健看護管理演習 国際保健論 保健看護英語 看護教育論	保健看護研究 I 保健看護管理理論 保健看護研究 II 保健看護管理演習 国際保健論 保健看護英語 看護教育論
	臨地実習	緑字は選択科目 ★マークは保健師コース必修 ☆マークは看護師充実コース必修 → は関連を示す	基礎看護実習 I 基礎看護実習 II 統合実習 I 統合実習 II	統合実習 II
	健康障害と保健看護	慢性期看護論 I 急性期看護論 I リハビリテーション看護論 子どもと健康 I メンタルヘルス学 I	慢性期看護論 II 急性期看護論 II 終末期看護論 子どもと健康 II 高齢者と健康 メンタルヘルス学 II	リエゾン精神看護学
	ライフステージと保健看護	ライフステージと看護 I (母性) ライフステージと看護 II (小児) ライフステージと看護 III (成人) ライフステージと看護 IV (老年)	学齢期の保健 女性と健康	保健医療経済論★
	生活と保健看護	生活の場と看護 I 看護方法論 I (生活援助) ヘルスアセスメント 看護活動論 人間理解と看護	公衆衛生看護活動論 I 公衆衛生看護方法論 I 生活の場と看護 II 家族と看護 看護方法論 II (看護過程)	看護方法論 IV (癒しと看護)
	基礎看護	基礎看護学入門 早期体験学習	看護方法論 III (医療技術) 看護方法論 II (看護過程)	看護方法論 IV (癒しと看護)
保健看護学の基盤となる領域	人間と生命倫理	発達心理学	人間関係論 生命倫理	医療哲学 精神療法(心理療法) 保健行政論
	保健と福祉	保健統計学 公衆衛生学 産業保健論 環境保健論★ 社会福祉概論 社会福祉活動論 リハビリテーション	疫学	保健行政論
	健康と病態	慢性期病態学 I 慢性期病態学 II (小児) 急性期病態学 性と生殖 I 基礎薬理学 救急医療(災害医療含む) 病態栄養学 運動健康学	総合病態学 終末期医療 健康教育論★ 臨床薬理学☆	
教養と人間学の領域	教養セミナー	英語 I 英会話 情報科学 I ケアマインド教育 中国語 情報科学 II 感性と芸術	英語 III 英語 II	英語 IV
	コミュニケーション	英語 I 英会話 情報科学 I ケアマインド教育 中国語 情報科学 II 感性と芸術	英語 III 英語 II	医療コミュニケーション
	人間の理解	こころの科学 人と倫理 文学 人間と文化		
	社会の理解	現代の家族問題 生活の科学と健康 経済学 法学(日本国憲法)	(1~4年次の選択科目)	
	科学の理解	保健看護の物理学 保健看護の生物学 生命と遺伝 食の科学 食の科学演習 保健・スポーツ 運動の科学		

地域の人々との交流から
暮らしと健康との関連を学びます

早期体験学習 1年次



入学後の早期に、地域に出向いて、そこで生活している人々との関わりや様々な体験を通して、暮らしと環境について理解し健康との関連について学びます

統合実習Ⅰ 2年次



地域で暮らす様々な発達段階にある人々の健康・生活を知り、健康・生活を守るための支援のあり方について学びます

【実習施設】

- ・保健所・市町村・保健センター
- ・子育て支援施設
- ・こども園・保育園
- ・小学校
- ・企業 等

公衆衛生看護実習 3～4年次

(保健師コース選択生のみ)

保健師コースは、和歌山県内の保健所、市町村保健センターに出向いて、住民の生活や環境から健康問題を捉え、それを解決するための方法を考え、実践します。地域を歩いて回ったり、家庭訪問をしたりするので、保健師活動を実践的に学べる楽しさを実感できます。学生たちで考えた健康講座は住民のみなさんに大変喜ばれ、とてもやりがいがあります。

コース選択を希望する学生が多いと、成績で選抜されるのですが、地域の視点を深く学ぶために、ぜひチャレンジしてほしいと思います。





保健看護実習A (母性)



新生児と母親の命を守ります

保健看護実習B (小児)



子どもの成長・発達を支えます

保健看護実習C (老年)



人生の先輩から生き方を学びます

看護を通して、人として成長します

保健看護実習D (精神)



自己を知る事が心の看護の基本です

慢性期看護実習



療養生活を支える看護を学びます

急性期看護実習



術衣を着ると緊張感が走ります

在宅看護実習



自宅での療養を支えます

統合実習Ⅱ



自ら計画を立て、実施した実習の成果を発表します

和歌山県立医科大学附属病院を中心に 和歌山県内の医療・保健・福祉施設で学ぶ



和歌山県立医科大学附属病院には、医学・保健看護学・薬学を学ぶ学生が医療を体験・習得する医療教育機関としての性格と、高度な医療技術と優秀な医療スタッフによる優れた医療を地域社会に提供する中枢的な医療機関としての役割があります。現代の高度な医療の進歩は目覚ましく、新しい医療の吸収と展開は、教育・研究を柱とする大学機関に附属する医療機関によってこそ可能です。常に優秀な人材の確保と医療システムの最適化を図り、広く地域社会に医療の還元を図ることが附属病院の使命です。

その他、和歌山県内の各施設が実習をサポート！

- ・和歌山県立医科大学附属病院紀北分院
- ・和歌山ろうさい病院
- ・ひだか病院
- ・南和歌山医療センター
- ・白浜はまゆう病院
- ・和歌山県立こころの医療センター
- ・和歌山県内の訪問看護ステーション、保健所、市町村保健センター
- ・助産施設、老人福祉施設、障害者福祉施設、企業 等

交流し、人間性を高めます 課外活動を通して、異文化や多世代と

地域交流活動

地域の特性から住民の生活状態や健康問題を理解し、医療に対する住民のニーズを捉えます。ボランティア活動や本学独自の助成制度「学生自主カリキュラム」などの自主的な活動を通して、チームワークや行動力を養います。

大学が認定する地域交流活動に参加するとポイントが加算され、通算 20 ポイントを得た場合に単位を認定しています。

学生自主カリキュラム

学生が自らの自由な発想と意思で学びたい活動を計画し、生きた知識を獲得し、さらに学びを深めていくことを目的とした学習支援プログラムです。

石川県災害ボランティア実施と学生間の交流及びアクティブラーニング

保健看護学部の学生 21 人で、石川県能登町の災害ボランティアに行ってきました。現地の被害状況を実際に見て、復興の厳しさや支援の大切さを強く感じました。家屋の片付けや物資の運搬などを行う中で、被災された方々から「ありがとう」と声をかけていただき、私たちの行動が少しでも役に立っていることを実感しました。活動の準備や現地での運営は学生が中心となっており、限られた時間の中で協力し合いながら取り組んだ経験は、チームワークやリーダーシップの重要性を学ぶ貴重な機会となりました。今後もこの経験を忘れず、災害への備えや看護職としての社会的責任について考え続けていきたいです。



4 年生：松下己也さん・後藤兼誠さん・山上皓大さん

地域の親子を対象とした遊びのひろば



私たちは、和歌山市内に住む親子を対象に子育て支援活動「サマフェス」を開催しました。保健看護学部のキャンパスで、お歌遊びのほか、親子でお面や内輪作りのできるブースなどを設置し、夏祭りになぞらえた様々なブースでのびのび遊べるよう工夫しました。また、当日はゲストとして和歌山市子育て支援拠点施設の一つである「わかば♪」の方々にも参加していただきました。当日は 20 組の親子が参加し、大学生ボランティアと一緒に楽しく遊ぶことができました。みんな笑顔で最後まで参加してくれて嬉しかったです。準備から当日の運営まで大変なことも多々ありましたが、先生方を始め多くの方々に協力

4 年生：神保志穂さん・田村優唯さん・宝学優奈さん・堀永陽向さん

3 年生：井上穂乃花さん・上野阿紗子さん・平尾萌恵さん・廣井心愛さん

看護学生フォーラム

看護学生フォーラムは、看護における学習と交流を目的として年に 1 回開催されており、看護学生フォーラム委員が主体となり、企画や運営を行っています。今年度は、和歌山県内で 8 校の看護学校の学生が集まりました。昨年度までコロナ禍の影響でリモートでの開催が続いていましたが、今年度から久しぶりに対面での開催が可能となり、12 月に紀三井寺キャンパスの講堂で開催しました。今回のテーマは、「災害看護 ～災害時の身体面、精神面のケアについて～」とし、日本赤十字社和歌山医療センターの DMAT 隊員である看護師の室圭子先生に被災地での看護活動の実践についての講演をしていただきました。災害看護の現状と活動の意義を認識し、看護専門職また看護学生として災害時にどう在るべきかを考えることができました。また、アイスブレイクとしてアキネーター、レクリエーションとして災害版クロスロードを実施しました。交流と災害に関する知識を



交流と災害に関する知識を



深め合い、仲間と協力できる喜びや大切さを学びました。近くの席になった他の学校の人とグループをつくり、お互いの意見を交換することで、学生同士の交流と災害に関する知識を深め合いました。この活動を通して、仲間と協力できる喜びや大切さを学びました。フォーラム開催に向けて、他校の運営委員の人たちとリモート会議を重ね、対面会議も行いながら、協力して運営に励みました。複数の学校の人たちと連携する上で、コミュニケーション能力は欠かせません。この活動の中で、相手に自分の考えをわかるように伝えること、相手の立場を尊重しながらチーム活動に積極的に参加すること、リーダーシップやメンバーシップの役割を担うことなど、たくさんのコミュニケーションを通して対人関係を構築する大切さを学び、成長することができました。普段関わらない人と関わる中で難しさも感じましたが、学内のメンバーや担当の先生方と楽しく活動できたため、委員としてフォーラム活動に参加できて良かったと思います。

令和6年度看護学生フォーラム委員：

上野阿紗子さん・草野美由紀さん・小畑祐真さん・坂下 涼さん・清水晃誠さん・中尾力希さん

国際交流活動

教育・研究両面で活発な交流

<主な協定状況>

昭和61年 山東大学（中国） 学術交流

平成16年 山東大学（中国） 学生交流

平成18年 本学に国際交流センターを設置

マヒドン大学（タイ） 学術交流・学生交流

平成19年 香港中文大学 学術交流・学生交流

平成25年 プラパ大学（タイ） 学術交流・学生交流

平成28年 ヤンゴン看護大学（ミャンマー） 学術交流

令和5年 ビクトリア大学（カナダ） 学生交流

☆山東大学（中国）とは協定を締結して以来、

両大学の学生が相互に訪問し、積極的に交流しています。



マヒドン大学国際交流に参加して

タイのマヒドン大学で、アジア各国から集まった医療系の学生たちと12日間をともに過ごし、多くの新しい気づきや学びを得ることができました。

英語で行われた公衆衛生の授業やグループディスカッションでは、国や地域によって異なる医療の課題について意見を交わしながら、グローバルな視点で医療を考える大切さを実感しました。医療を学ぶ学生として、今後の学びへのモチベーションがより一層高まりました。

また、タイの街並みや現地の人々の生活を実際に見て感じたことは、本やインターネットからでは得られない、生きた経験として自分の中に残っています。

今回の経験を通して広がった視野をこれからの学びにも活かしていきたいと思います。

3年生：草野美由紀さん・坂下 涼さん 2年生：吉川真央さん

山東大学学生交流に参加して

今回の国際交流では山東大学の学生10名が和歌山に来てくれ、たこ焼きパーティーで歓迎しました。実際にたこ焼き作り体験をしてもらい、日本の文化を楽しんでいるのを見てとても嬉しく思いました。また、会話は基本的に英語でおこない、コミュニケーションをとるのがいつもより難しかったですが、ジェスチャーを交えながら意思疎通を図り会話が弾みました。たとえ言葉が伝わらなくても、伝えようとする姿勢が大切だと実感しました。短い時間ではありましたが、学生同士の交流が深まり、とても貴重な良い体験になったと思います。

3年生：小畑祐真さん・清水晃誠さん・中尾力希さん・山本 樹さん



保健看護研究Ⅱ（3年次後期～4年次）

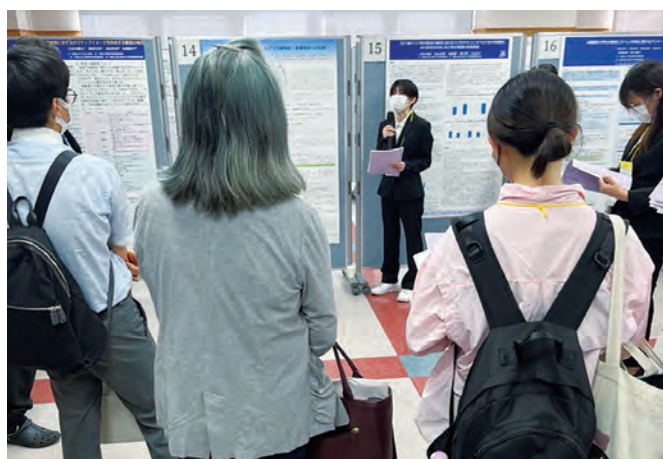
日常や看護の素朴な疑問や関心を研究課題とします。観察力と着想、その課題に最もふさわしい研究手法の選択、研究計画書の作成、実施など、研究のプロセスを学びます。

さらに、1年かけて取り組んだ研究の成果を学内で発表します。国内外の学会で発表し、論文を学術雑誌に投稿することも大切です。研究成果を世に公表して、看護学の発展につながるような価値ある研究を進めていきます。

私たちのゼミでは、ナッジ理論に関する文献検討を行いました。看護分野への理論の活用について、1人ずつアイデアをプレゼンし学びを深めました。その年の保健師国家試験でナッジ理論の知識を問う出題がありましたが、迷うことなく正しい答えを選択することができました。ゼミ研究は受け身ではなく、学生自身が発信したことに取り組むのでやりがいがあります。学会での成果発表も経験し、学外の方との意見交換もできたので大変有意義でした。看護師になっても探求する姿勢を大事にしていきたいです。

先生方の専門領域はそれぞれ異なり、自分の興味や関心のある先生のもとで、ゼミ研究を行います。

3～4人のグループで、自らテーマを選定し、疑問に思ったことや理解を深めたいことを探求していきます。



大学運営に学生が積極的に参画

学生たちの若い力と柔軟なアイデアで、様々な課題を解決していくことができると期待しています。今後、大学の運営に学生が参画できる機会を増やし、よりよい大学を目指すとともに、地域社会のリーダーとして貢献できる人材を育成します。

皆さん、こんにちは。自治会長を務めております清水晃誠です。

私たちの自治会は、学生生活をより充実したものにするために様々な活動をおこなっています。特に、学年ごとの交流を深めるために、新入生歓迎イベントを毎年開催し、キャンパスに新しい風を吹き込んでいます。また、学校祭の運営をサポートし、みんなで協力して素晴らしいイベントを作り上げることを大切にしています。

さらに、私たちは学内の絆を深めるために、退職される先生方に感謝の気持ちを込めて花束を贈ることや、卒業生への記念品を作成する活動にも力を入れています。これらの活動は、大学生活の思い出を大切にし、次の世代へとつなげていくためのものです。

私たち自治会は、学生一人ひとりがより良い大学生活を送るために、日々努力を惜しみません。今後とも、皆さんと一緒に素晴らしい学び舎を作り上げていけることを楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。

令和6年度保健看護学部学生自治会長：清水晃誠さん



4 月

入学式・オリエンテーション
前期授業開始
健康診断

早期体験学習
(1年生)



5 月

保健看護実習 A・B・C・D
慢性期看護実習
急性期看護実習
公衆衛生看護実習 II
(4年生)

6 月

7 月

前期試験
(2・3年生)
オープンキャンパス

8 月

夏期休業

9 月

授業再開
前期試験
(1・4年生)

基礎看護実習 II
統合実習 I
(2年生)
統合実習 II
(4年生)

10 月

後期授業開始
大学祭

保健看護実習 A・B・C・D
慢性期看護実習
急性期看護実習
在宅看護実習
(3年生)

11 月

12 月

保健看護研究 II 発表会
(4年生)
冬期休業

1 月

授業再開
総合評価試験
(4年生)

基礎看護実習 I
(1年生)
公衆衛生看護実習 I
(3年生保健師コース)

2 月

後期試験
看護師・保健師国家試験
開学記念日 (2月20日)

3 月

卒業式
春期休業



共に高め合える仲間と共に看護観を磨く

小守 奏嘉さん (2年生)



・志望動機

子どものころから看護師になりたいと考えており、生まれ育った和歌山県内で看護を学ぶことができる本学を志望しました。また、保健師コースや助産師専攻学科があり、将来の選択肢を増やすことができるという点も、この大学を選んだ理由の一つです。

・授業について

専門科目では、講義や演習を通して具体的な看護技術や看護理論を学びました。演習では先生方に疑問点を質問しながら練習し、看護技術を身につけていきます。教養科目では、自分が興味を持った科目を選択し、多くの知識や考え方を学ぶことができます。ケアマインド教育では患者さんのご家族や医療従事者など、さまざまな立場の方の講義を受け、自身の看護学生としての姿勢を見つめなおすきっかけとなりました。また、医学部生・薬学部生と一緒にグループワークを行い、協力して課題に取り組みながら意見交換を行うことができました。

・実習について

1年次では、1月に附属病院で基礎実習Ⅰをおこないます。病棟実習では、看護師さんの動きや患者さんとのコミュニケーションの取り方など、たくさんの学びを得ることができました。病院内には患者さんの安全の守るために様々な工夫があること、多職種の医療従事者が連携していることを目の当たりにしました。学内の演習だけではわからないことが多く、実際に患者さんとかかわることで、自分に足りない部分を実感し、これからの勉強のモチベーションにつながりました。指導者さんや先生方に的確な助言をいただき、看護の視点や学習の仕方などを学びました。実習記録は大変でしたが、それ以上に得られるものが多く、貴重な経験となりました。

・大学生活について

本学は学生の人数が少ないため、先生方との距離が近いです。このため、実習や授業でわからないところを質問しやすく、先生方も熱心に答えてくださいます。

私は大学進学を機に一人暮らしを始めました。掃除や洗濯、料理をすべて自分でやるのは大変ですが、生活力が向上したと感じます。部活は週3回、バイトは週3回程度で、充実した生活を送ることができています。授業だけではなく、部活に参加したりバイトをしたりすることで、いろんな人と交流することができます。部活は医学部・薬学部の学生と一緒に活動します。部活をきっかけに仲良くなった友達や先輩とは、練習終わりに食事に行ったり、休日に遊んだりしています。また、友人たちとは、テスト勉強でわからないところを教え合ったり、演習の自己練習をしたりと、支え合いながら過ごしています。

吉田 小春さん (3年生)



・志望動機

私は、ひとの人生を少しでも豊かにできるようになりたいと思い、看護の道に進みました。また、看護師になるための専門的知識、倫理的態度を学び、生まれ育った和歌山に貢献したいと思ったため本学を志望しました。

・授業

1年生では、看護を実践する上で基本となる身体の構造と機能や、看護師としての倫理的態度、ライフステージに応じた特性や看護について学びました。また、自分が興味のある科目を選択できるため主体的に学ぶ姿勢が身につきました。

2年生では、より専門性の高い看護について学びました。疾患別の看護や、急性期、慢性期といった視点での看護について1年生の時に学んだことを意識して学ぶことができました。また、グループワークも多いため、同じ内容でも多くの視点から学びを深めることができます。

・演習や実習

演習では、事前に勉強してきた知識を用いて看護技術を実施します。2年生では、感染予防に関する内容や、採血や注射について学びました。演習は少人数のグループで行われ、各グループに先生がいるため、わからないことは質問しやすく、実施する回数も充分にあります。また、グループごとに事前課題や学びを共有するため、わからないところはお互いに教えあったり、みんなで考えたりして学びを深めることができます。

実習では、患者さんを看護するにあたって必要な情報を収集し、看護問題を抽出して、自分たちにできる看護について考えました。実習も4、5人の少人数のグループで行われ、悩んだ時はメンバーや先生に相談しながら乗り越えてきました。実際の患者さんとコミュニケーションをとり、看護を実践するため講義では学べないことをたくさん学ぶことができます。

・部活動

大学の部活動では、練習や大会、その他の行事などすべて自分たちで運営していくという点で日々悩むことも多いですが、部員と協力し合い、乗り越えていく経験によって、人として成長することができます。大変なこともたくさんありますが、それ以上に楽しいことの方が多く、入って良かったと心から思っています。また、他の学部との繋がりや、先輩、後輩との繋がりも増え、大学生活がより一層楽しくなりました。

また、部活動と勉強のスケジュールを前もって管理し、メリハリをつけることで学業と両立しています。わからないことがあれば、先輩が教えてくれるので勉強に対する不安も少なくなります。部活動だけでなく、大学生活全般において頼れる先輩がいることはとても心強いなと感じています。



岡室愛友さん (4年生)



・志望動機

生まれ育った和歌山県の人たちに恩返しをしたいという思いから、他府県の大学ではなく、和歌山の地域の特性や地域医療について勉強できる本学を志望しました。

・余暇の過ごし方

美味しいものを食べることが好きなので、週末は和歌山のカフェ巡りをしています。長期の休みには、フィリピン留学に挑戦し、自分の興味や関心があることに取り組むことができました。放課後は、アルバイトに励み、毎日忙しくも充実した生活を送っています。

・臨地実習について

病院や地域の臨地実習は3年生の9月末から4年生の7月まで約1年間あります。この期間に、母性、小児、老年、精神、成人、在宅、公衆衛生など看護領域ごとに1グループ6～8名程度に分かれて実習を行います。チームメンバーで協力して実習を乗り越えていく中で、協調性や人間関係について考える機会になります。

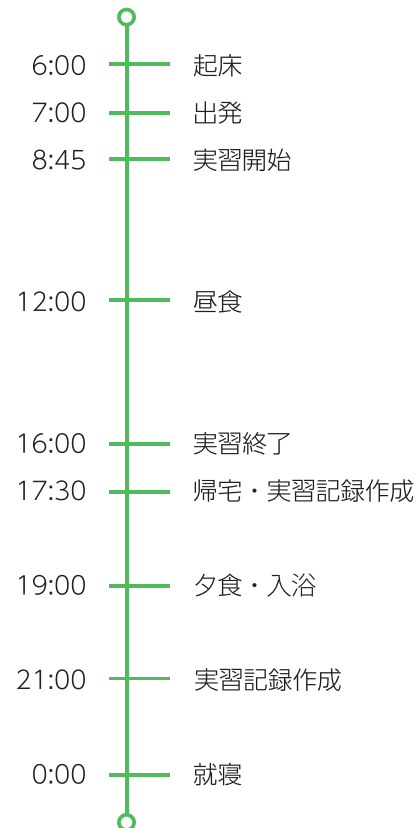
実習期間中にはインターバルがあり、休息の機会や事前課題に取り組む時間にあてることができます。慣れない生活で緊張する場面も多く、毎日の実習記録は大変だと感じることもあります。しかし、受持ち患者さんと出会い、教員や指導者さんから助言をいただくなかで、多くの学びや気づきを得ることができます。また、患者さんから「ありがとう」などの言葉をかけていただいた時には、やりがいや達成感を感じます。実習を通して、自身の看護観を築くとともに、倫理観や自己と向き合う機会を得ることができます。

不安や緊張を感じる場面も多いですが、仲間や先生達と協力し、助け合いながら、乗り越えていくことができます。

・保健看護学部の魅力

本学は担任制を採用しており、進路や学校生活の悩みについて親身に相談に乗ってもらえる環境が整っています。そのため、安心して充実した大学生活を送ることができます。また、1学年80人程度と少人数制でクラス全員の顔と名前が分かるほどの親しみやすい関係性が築けます。学生同士の交流も盛んで和気あいあいと楽しい学校生活を送ることが本学の大きな魅力です。

・タイムスケジュール (実習日)



・ゼミについて

卒業に向けたゼミ活動は、3年生後期から始まります。大学には専門的な知識をもつ多くの先生が在籍しており、学生は興味・関心のある研究を行っている先生のもとで、2～4名のグループで研究を実施し、成果を発表します。初めての研究活動では、難しく感じることもありますが、先生が親身になってサポートしてくれるため、安心して取り組むことができます。グループで協力して研究を完成させていく中で、チームワークの大切さや信頼関係を深めることができます。



クラブ紹介

- 茶道部
- わくわく子育て部
- ミュージックボランティアクラブ
- 手話サークル milk
- 軽音楽部
- 美術部
- 音楽研究会
- ESS 部
- 予防医学サークル
- 演劇部
- Wakayama Will
(災害ボランティアサークル)
- アカペラ部
- 釣魚部
- 米国医学研究会× USMLE
- 裏千家茶道部
- 華道部
- 文芸部
- 手芸サークル
- クイズ研究会
- ダンスサークル INTACT
- 卓球部
- 柔道部
- バドミントン部
- バレーボール部
- 準硬式野球部
- 合気道部
- 空手道部
- バスケットボール部
- サッカー部
- 陸上競技部
- 剣道部
- ラグビー部
- フットサル部
- 水泳部
- 漕艇部
- 硬式庭球部
- 軟式庭球部
- ヨット部
- スキー・山岳部
- ゴルフ部
- 軟式野球部
- ソフトテニスサークル

一緒に泣いて笑える仲間を作ることができます。



Wakayama Will (災害ボランティアサークル)



剣道部



バドミントン部



茶道部



卓球部



手話サークル milk



ミュージックボランティアクラブ



ダンスサークル INTACT



バスケットボール部



合気道部



水泳部



バレーボール部



空手道部



漕艇部



軽音楽部

社会に羽ばたき自分らしさが花開きます

看護師 楠本 純礼さん
(令和3年度卒業生)



和歌山県立医科大学附属病院 勤務4年目

私は、高度救命救急センターのICUで勤務しています。ICUは、大手術後や救急入院した重症な患者に対して、集中治療をおこなう部門で、あらゆる年齢の患者が入室しています。緊迫した状況のなかで、患者の些細な変化を見逃さないように観察することが看護師には求められます。勉強が大変な時もありますが、多職種と協力しながら、患者一人一人を向き合い必要な看護援助をおこなっています。早期リハビリやせん妄予防などをおこない、患者が快復していく姿や患者の笑顔を見ると、とてもやりがいを感じることができます。これからも、患者の状態をしっかりと観察して異常を早期に発見し、患者が少しでも早く回復できるように看護を提供したいと思います。

保健師 富田 弥生さん
(令和3年度卒業生)



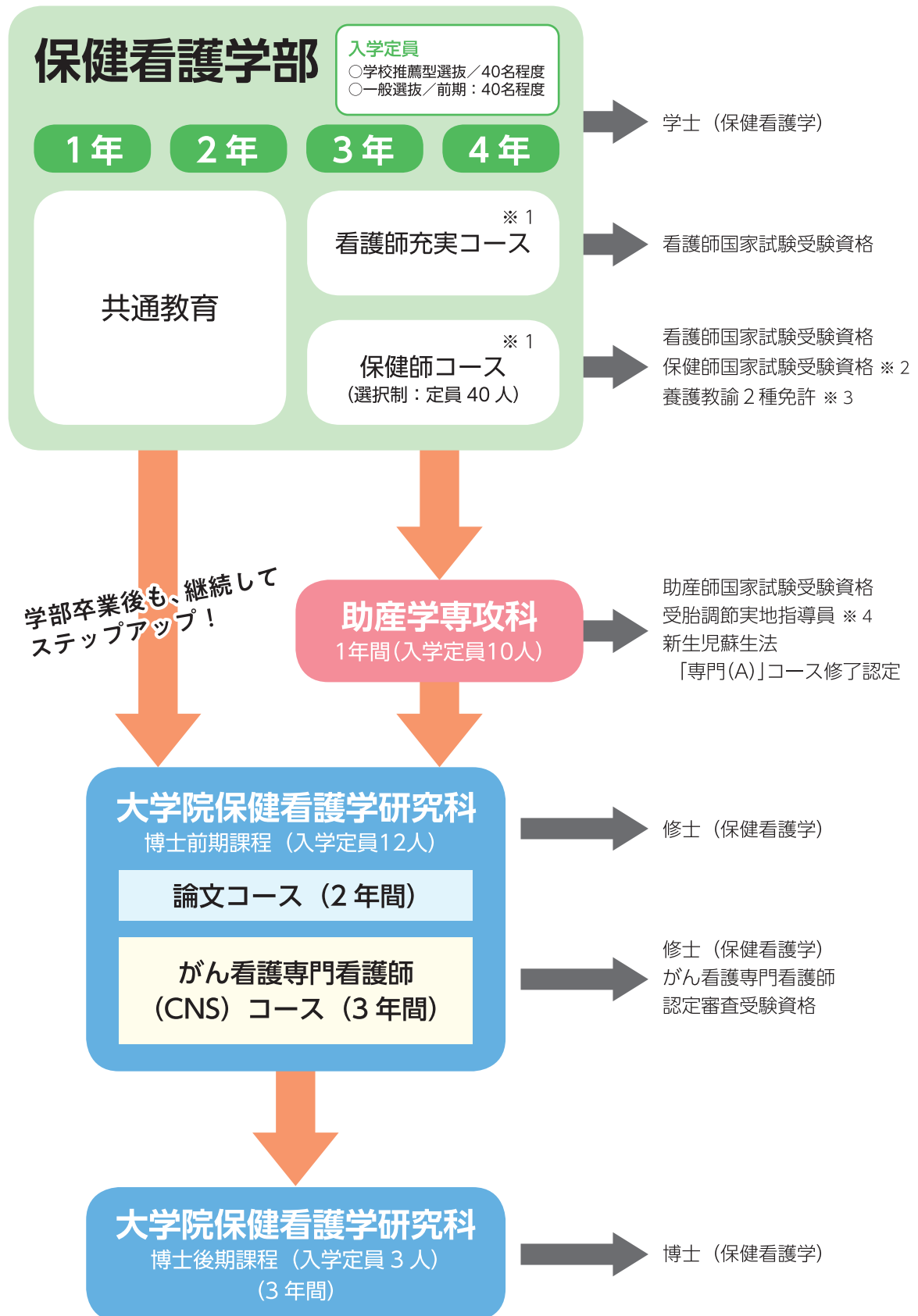
海草振興局健康福祉部（海南保健所） 勤務4年目

私は、海南保健所で働いており、主に医療と介護の連携におけるルールや仕組みづくりをおこなっています。人口が減少し、超高齢社会を迎える中で、地域住民の皆さんが住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるにはどうしたらよいか、日々模索しています。大変な一方で、関係機関の皆さんと地域について一緒に考え、作り上げていくことはやりがいも大きく感じられます。また、困った時は先輩方や上司に相談しながら、活動できています。今の保健師活動は、学生時代に得た知識や経験が基盤となっており、私の心強い味方となっています。

		和歌山県内	和歌山県外
就職	看護師	和歌山県立医科大学附属病院 海南医療センター 国保野上厚生総合病院 日本赤十字社和歌山医療センター 国立病院機構南和歌山医療センター 和歌山ろうさい病院 済生会和歌山病院 角谷整形外科病院 訪問看護ステーション麒麟 楠見訪問看護ステーションすずらん など	大阪公立大学医学部附属病院 大阪大学医学部附属病院 大阪母子医療センター 大阪急性期・総合医療センター 大阪ろうさい病院 近畿大学病院 堺市立総合医療センター など
	保健師	和歌山県・県内市町村 など	大阪府・大阪市・堺市 など
進学		和歌山県立医科大学助産学専攻科 和歌山県立医科大学大学院 など	大阪公立大学大学院看護学研究科 大手前大学大学院国際看護学研究科 ベルランド看護助産大学校 愛仁会看護助産専門学校助産学科 など



学位・資格取得によるキャリアアップを支援します



- ※1 看護師充実コースと保健師コースは一部履修科目が異なります。
- ※2 保健師コース修了者のみ受験資格があります。また、保健師免許は看護師免許がないと取得できません。
- ※3 保健師免許を取得後、都道府県教育委員会への申請を要します。
- ※4 都道府県知事への申請を要します。



保健看護学の未来を担う、高度臨床実践者・教育者・研究者を育成します。

学部での学びをさらに発展させます

教育課程	博士前期課程保健看護学専攻		博士後期課程 保健看護学専攻
	論文コース	がん看護専門看護師 コース	
教育理念	広い視野と高邁な倫理観に立ち、人間の尊厳を重視する保健看護学の教育・研究を進め、保健・介護・福祉に対するニーズに先駆的に対応し、健康に関係する様々な分野相互の連携の重要性が理解できる資質の高い保健看護職者と健康関連専門職者を育成する。 また、本学保健看護学部の使命である「地域に根ざした保健看護学の考究」の推進者として、地域の人々の健康の保持増進、疾病・障害に伴う諸問題を含め、倫理的・科学的な研究に対する意欲をもち、自律して質の高い計画を立案・実行し、社会のニーズに柔軟かつ豊かに対処することができる健康づくりに関わる専門職業人として能力の向上をめざす。		広い視野と高邁な倫理観に立って、人間の尊厳を重視する保健看護学の教育・研究を進め、保健・医療に対するニーズに先駆的に対応し、健康に関係する様々な分野における健康づくりに寄与できる教育・研究者を育成し、地域における人々の健康に貢献する。
アドミッションポリシー	1. 保健看護学分野における専門性を高めるための研究に意欲をもつ人 2. 保健看護学以外の領域で学んだ知識と技能を保健看護学の研究へ応用、発展しようとする人 3. 本課程で学ぶ知識と技能を医療や医療以外の領域へ応用、発展しようとする人 4. 地域医療への貢献を研究的視点にもつ人		1. 保健看護学に関する高い関心と研究への強い意欲をもつ人 2. 保健看護学の発展と社会福祉の向上に熱意をもつ人 3. 保健看護学への貢献を研究的視点にもつ人 4. 保健看護学の専門職業人として、高度な専門知識の更新、リカレント教育に取り組もうとしている人
専攻領域	☐ 健康科学領域 ☐ 基盤看護学領域 ☐ 生活・地域保健学領域	☐ 基盤看護学領域がん看護学	☐ 生涯保健看護学領域 ☐ 地域保健看護学領域
選抜方法	☐ 一般選抜 ☐ 社会人選抜	☐ 一般選抜 ☐ 社会人選抜	☐ 一般選抜 ☐ 社会人選抜
入学試験	一般選抜、社会人選抜ともに英語、専門科目、面接を行う		
入学定員	12 名		3 名
修業年限 ^(*)	2 年	3 年 (長期履修制度利用)	3 年
取得できる学位・資格	修士（保健看護学）	修士（保健看護学） がん看護専門看護師 認定審査受験資格	博士（保健看護学）
学生支援	日本学生支援機構による奨学金制度（社会人は申請することができません。）		

(*) 長期履修制度あり



博士前期課程（修士課程）

健康科学領域

身体的、精神的、社会的側面から「健康」をとらえ、関連する諸科学において学際的に探求する領域

専攻分野

- 健康増進学
- 運動器疼痛リサーチ & マネジメント学
- 発育・育成学
- メンタルヘルス学
- 社会予防疫学
- 対人援助コミュニケーション学

基盤看護学領域

看護学の専門性に対応した看護学各分野における実践者、研究者、教育者の育成を目指す領域

専攻分野

- 基礎看護学
- 高齢者看護学
- 慢性看護学
- 急性看護学
- がん看護学

生活・地域保健学領域

家庭、地域、職域等、人々の生活の場における健康づくりのプロフェッショナルを育成する領域

専攻分野

- 母性保健学
- 小児保健学
- 地域看護学
- 在宅ケア看護学
- 環境保健学

授業科目

■ 共通科目（必修）

論文コース、がん看護専門看護師コース共通

- ・保健看護学研究法
- ・英語文献講読
- ・保健看護情報統計学

論文コース

- ・特別研究

がん看護専門看護師コース（必修）

- ・臨床薬理学・フィジカルアセスメント
- ・病態生理学・課題研究

■ 共通科目（選択）

論文コース、がん看護専門看護師コース共通

- ・ヘルスケアエシックス・保健看護学概論
- ・健康マネジメント政策論・看護教育論・看護管理論
- ・看護理論・コンサルテーション論・健康測定評価論
- ・健康栄養学・家族看護学・医療と法

論文コース

- ・臨床薬理学・フィジカルアセスメント・病態生理学

■ 健康科学領域

- ・健康増進学特論
- ・健康増進学演習
- ・運動器疼痛リサーチ & マネジメント学特論
- ・運動器疼痛リサーチ & マネジメント学演習
- ・発育・育成学特論
- ・発育・育成学演習
- ・メンタルヘルス学特論
- ・メンタルヘルス学演習
- ・社会予防疫学特論
- ・社会予防疫学演習
- ・対人援助コミュニケーション学特論
- ・対人援助コミュニケーション学演習

■ 基盤看護学領域

- ・基礎看護学特論
- ・基礎看護学演習
- ・高齢者看護学特論
- ・高齢者看護学演習
- ・慢性看護学特論
- ・慢性看護学演習
- ・急性看護学特論
- ・急性看護学演習
- ・がん看護学特論
- ・がん看護学演習
- ・がん看護学特論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ*
- ・がん看護学実習*
- ・がんリハビリテーション看護A・B*
- ・緩和ケアA・B*

*がん看護専門看護師コース必修

■ 生活・地域保健学領域

- ・母性保健学特論
- ・母性保健学演習
- ・小児保健学特論
- ・小児保健学演習
- ・地域看護学特論
- ・地域看護学演習
- ・在宅ケア看護学特論
- ・在宅ケア看護学演習
- ・環境保健学特論
- ・環境保健学演習

博士後期課程（博士課程）

生涯保健看護学領域

- 母子保健看護学
- 成人期保健看護学
- 高齢期保健看護学

地域保健看護学領域

- 地域保健看護学

授業科目

■ 共通科目（必修）

- ・保健看護学研究法
- ・後期特別研究

■ 共通科目（選択）

- ・健康管理論
- ・生活支援看護学

■ 生涯保健看護学領域

- ・母子保健看護学特論
- ・成人期保健看護学特論
- ・高齢期保健看護学特論

■ 地域保健看護学領域

- ・地域保健看護学特論

大学院生メッセージ



張 春浩さん（博士前期課程2年生）

「国境を越えて、深く楽しく学びましょう！」

私は中国の山東省から留学生として来日しました。来日後、日本の看護師免許を取得し、看護師として働いています。働く中で、患者さんのニーズに対応できない現状や自身の知識やスキルの未熟さを感じることが多く、より質の高い看護サービスが提供できるようになるために成長したいと考えて、大学院に進学しました。日本の文化や医療制度などについて学び、中国ではできないような経験をたくさんさせていただきました。

大学院での経験を通じてより大きい視野から物事を考えられるような人間的な面での成長を実感しています。また、他分野の看護の専門職の方々とともに学ぶことはとても楽しく、私の大きな財産となっています。この大学院への進学を決めて本当に良かったと思っています。

向藪 花鈴さん（博士前期課程2年生）

私は入職時より救急科に配属となり、看護師臨床経験6年目で大学院に進学しました。救急科は急な病気や事故などで救急搬送される患者が多く、患者本人に意思決定能力がない場合は家族が代理意思決定を担う必要があるため、その支援の難しさを感じていました。そこで、急性期における意思決定支援、代理意思決定支援について学びを深めたいと考えたので、大学院に進学しました。

大学院では、先生方のご指導のもとで、年代や活躍の場が異なる仲間とともに、看護や研究について学びを深めることができます。臨床の経験だけでは得られない学びが多くあるのでとてもいい刺激を受けています。

仕事と学業の両立は大変なこともありますが、先生方や仲間と過ごす時間はとても楽しく充実しています。大学院で学んだことを臨床の実践につなげることができるのでやりがいを感じています。



原 裕子さん（博士後期課程2年生）

博士後期課程は、自立して研究を展開することが求められます。そうしなければ何も成果が生まれません。しかし生涯、研究者として追求したい研究課題とじっくり向き合え、研究遂行に必要な力を身につけることもできる贅沢な時間であると思います。

私は博士前期課程のときから、急性期病院の看護師の患者の退院後を見据えた看護実践力向上に関する研究課題に取り組んでいます。現在は、急性期病院の看護師さんの勤務にご同行させていただき、臨床での実践の様子を調査させていただいています。研究者としてみる臨床には、看護師としてみていた時とは異なる素晴らしさ、魅力があり、調査に何わせていただくたびに新鮮な気持ちになると同時に、協力者の皆様へきちんと研究成果を還元しなければという思いが強くなります。

大変ではないと言うと正直嘘になりますが、先生方のご指導や入学年度を問わない博士後期課程の方々の支えもあり、研究遂行のために必要な力が少しずつですが、身に付いてきているように感じています。本学の受験をもう決められている方も、まだ悩んでおられる方もぜひ私達とともに学び、成長していきましょう。



女性の主体性を尊重し、安全で質の高い助産ケアができる専門職を育成します。
また、人との出会いとふれあいを大切にしたい教育を目指します。

アドミッションポリシー(入学受入方針)

和歌山県立医科大学助産学専攻科では大学の教育理念に基づき次のような人を求めています。

- 科学的探究心と豊かな人間性・高邁な倫理観を希求する人
- 助産学を修得するための幅広い能力を有する人
- コミュニケーション能力を備えた協調性の高い人
- 地域母子保健に関心があり、国際的視野を希求する人
- 生涯にわたって自立と自律をめざす人

カリキュラムポリシー(教育課程方針)

教育課程は「基礎領域」「実践領域」「関連領域」の3領域で構成しています。

- 基礎領域では、助産師の役割や助産業務の遂行に必要な生命倫理、子どもの健やかな成長発達支援のための理論や支援方法に基づいた教育
- 実践領域では、助産診断・技術学を中心に講義や演習によって妊産褥婦・新生児の健康状態を診断しケアを計画し実践できる教育、また助産師による地域母子支援及び関係機関との連携する力を獲得できる教育
- 関連領域では、助産学研究や助産学に対する課題解決力や医療職として生涯にわたって自己研鑽力を身につける教育、及び母子保健を国際的な視点でとらえ、幅広く活動できる人材を育成する教育

ディプロマポリシー(修了証書授与方針)

和歌山県立医科大学助産学専攻科は所定の単位を修得し、以下の能力を獲得した者に修了証書を授与します。

- 助産師として高い倫理観を基盤として、対象を理解し尊重することができる
- 妊娠・分娩・産褥経過および新生児期において診断できる能力を備え、正常からの逸脱を判断し異常を予測したケアを提供することができる
- 女性の一生における性と生殖に関する健康課題に対して、支援するための基礎的能力として知識・技術・コミュニケーション力を有している
- 国際的視野を持ち、保健・医療・福祉・行政との連携を図り、協働して地域社会に貢献することができる
- 知的好奇心を持ち生涯を通じて自己研鑽することができる

修業年限 1年

入学定員 10名

実習施設

【病院】

和歌山ろうさい病院
ひだか病院
紀南病院
和歌山県立医科大学附属病院

【助産院】

岡本助産院
ちひろ助産院
むとう助産院

授業科目一覧

授 業 科 目		単位数		修了要件
		必修	選択	
基礎領域	助産学概論	1		必修 34単位 選択 1単位 以上
	妊娠期の異常	1		
	分娩・産褥・新生児期の異常	1		
	生殖医療と生命倫理	1		
	親子関係発達論	1		
	母子の栄養学	1		
実践領域	助産診断・技術学Ⅰ(妊婦)	2		
	助産診断・技術学Ⅱ(産婦)	2		
	助産診断・技術学Ⅲ(母子)	2		
	助産診断・技術学Ⅳ(思春期・更年期・老年期)	1		
	子育て支援論	1		
	健康科学教育論	1		
	助産管理	2		
	成育医療	1		
	助産学実習	12		
	助産管理実習	1		
	産科救急・新生児蘇生法	1		
	助産学研究	1		
関連領域	周産期のメンタルヘルス	1		
	アクティブバースへのケア		1	
	助産師と国際活動		1	
合 計		34	2	35単位以上



主な年間スケジュール

4 月 入学式、オリエンテーション
前期講義、演習

5 月 講義、演習

6 月 地域母子保健

7 月 技術テスト、前期試験
オープンキャンパス

8 月 夏期休業（実習準備）

9 月 助産学実習（9 月～11 月末）
・分娩介助
・継続事例への助産ケア及び1 ヶ月健診
・保健指導など

10 月

11 月

12 月 助産管理実習
実習報告会
冬期休業

1 月 助産学研究発表会（事例）
後期講義
後期試験

2 月 国家試験受験
入職前演習（教科外プログラム）

3 月 修了式



会陰縫合術演習



新生児蘇生法(Aコース)



マザークラス：児頭回旋説明



マザークラス発表後



助産学専攻科修了生からのメッセージ

助産師 中西 百 萌さん (令和6年度修了生)

和歌山県立医科大学附属病院 勤務1年目

助産学専攻科の1年間を振り返ると、今までで1番密度の濃い、充実した日々だったと感じます。講義内容が専門的で理解が追いつかないことや課題の多さに苦戦することが多く、想像以上に大変でした。それでも、仲間と切磋琢磨して、一つひとつ乗り越えることができたと思います。

演習では、技術を習得するために繰り返し練習を行いました。4名の先生方が個別性に合った指導をしてくださるため、課題を明確にしながら取り組むことができました。9月～12月上旬には助産学実習・助産管理実習があります。主体的・積極的な学びが必要であり、自分の知識や技術が追いつかず、挫折することもありました。先生方や指導者さんからご助言をいただき、できることが少しでも増えたときはとても嬉しかったです。実習で関わらせていただいた方からの「あなたがいてくれて良かった」「ありがとう」という言葉や産まれてきた赤ちゃんが元気に成長していく姿を見て、より助産師になりたいと思うようになりました。この学びや経験を活かし、出会った仲間を大切に、これからも努力していきたいと思っています。

助産師を目指す皆様の入学を応援しています。



助産師 沖 奈 央さん (平成30年度修了生)

和歌山県立医科大学附属病院 勤務7年目



和歌山県立医科大学附属病院で助産師として勤務しています。助産学専攻科で過ごした1年を振り返ると、私の人生の中で一番濃い時間だったと思います。助産師という同じ夢を持った仲間と助け合い、日々の課題や演習を乗り越えました。熱心に指導してくださる先生方に支えられ毎日を過ごしました。3か月間の助産学実習は、受け持ちの妊産褥婦さんや臨床指導者の方から多くのことを学ばせていただきました。この学びは、私が今助産師として働く上で基礎になっています。

和歌山県立医科大学附属病院は和歌山県で唯一の総合周産期医療センターです。母体胎児集中治療室（MFICU）や新生児集中治療室（NICU）を併設し、ハイリスク妊産婦を受け入れています。当院で勤務する助産師は瞬時に適切な助産診断を行う能力が求められます。緊張感のある場面もありますが、無事に赤ちゃんが生まれ、担当したお母様方から感謝の言葉をいただくとき、助産師としてのやりがいを感じます。

貴重な出産の場に立ち合わせていただくことができる助産師は、とても魅力のある職業だと思います。ぜひ素敵な助産師になれるよう頑張ってください。応援しています。

助産学専攻科修了後の主な就職先

- 和歌山県立医科大学附属病院
- 大阪母子医療センター
- 紀南病院
- 大阪ろうさい病院
- ひだか病院
- 淀川キリスト教病院
- 和歌山ろうさい病院
- 愛染橋病院
- 大阪大学医学部附属病院
- 京都大学医学部附属病院
- 大阪公立大学医学部附属病院
- 加古川中央市民病院
- 大阪市立総合医療センター
- 岡山医療センター

入学金等

	保健看護学部		大学院保健看護学研究科		助産学専攻科	
入学検定料	17,000円		30,000円		18,000円	
入学金	県内生	282,000円	博士前期課程	282,000円	県内生 (学内生含む)	169,200円
	県外生	423,000円	博士後期課程	282,000円	県外生	253,800円
授業料 (5月と11月に分納)	535,800円		535,800円		535,800円	

授業料等減免制度

経済的理由によって授業料等の納付が困難であり、かつ学業成績が優秀であると認められる者を対象に、授業料等の全額もしくは一部が免除される場合があります。

※希望する場合は、保健看護学部事務室に相談してください。

※本学は、「大学等における修学の支援に関する法律」に基づく高等教育の修学支援新制度の対象機関（確認大学）です。

奨学金

- 日本学生支援機構
- 和歌山県立医科大学修学奨学金
- その他

表彰制度

他の学生の模範となる学生を卒業時に表彰します。

- 知事賞／成績優秀者を表彰
- 学長賞／成績優良で他の模範となる学生を表彰

大学図書館

本学には、紀三井寺キャンパスに紀三井寺館、三葛キャンパスに三葛館、伏虎キャンパスには伏虎館という三つの大学図書館があり、学生は全ての図書館を利用できます。

保健看護学部がある三葛キャンパスに位置する三葛館は、約66,000冊の図書やCD・DVDなどの視聴覚資料、約1,100種類の学術雑誌を所蔵しているほか、学習や研究に必要な文献などを探すためのデータベースや電子ジャーナル、電子ブックなどの電子リソースも利用でき、新しい知識を得るための環境が整っています。

図書館三葛館ウェブサイト：

<https://opac.wakayama-med.ac.jp/drupal/mikazura>

きめ細かな学生サポート体制

オフィスアワー

学生のための時間を全教員が週に一度設け、学習指導や学生生活での相談などを受け、学生がきめ細やかな助言・指導を受けられる環境を提供しています。

カウンセリング

週に一度、外部のカウンセラーによるカウンセリングを開設しています。学習面や進路のことなど気軽に相談できます。

担任制

保健看護学部は、4年間の学生生活を担任教員がサポートします。自分のことをよく知ってくれている教員がいるので安心です。



山や海に囲まれた自然豊かな和歌山で保健看護学を通して自分の可能性を広げよう



看護実習室



図書館

- ① 管理・校舎棟
- ② 図書館棟
- ③ 体育館棟
- ④ 研究棟
- ⑤ 医学部三葛教育棟



大学生協



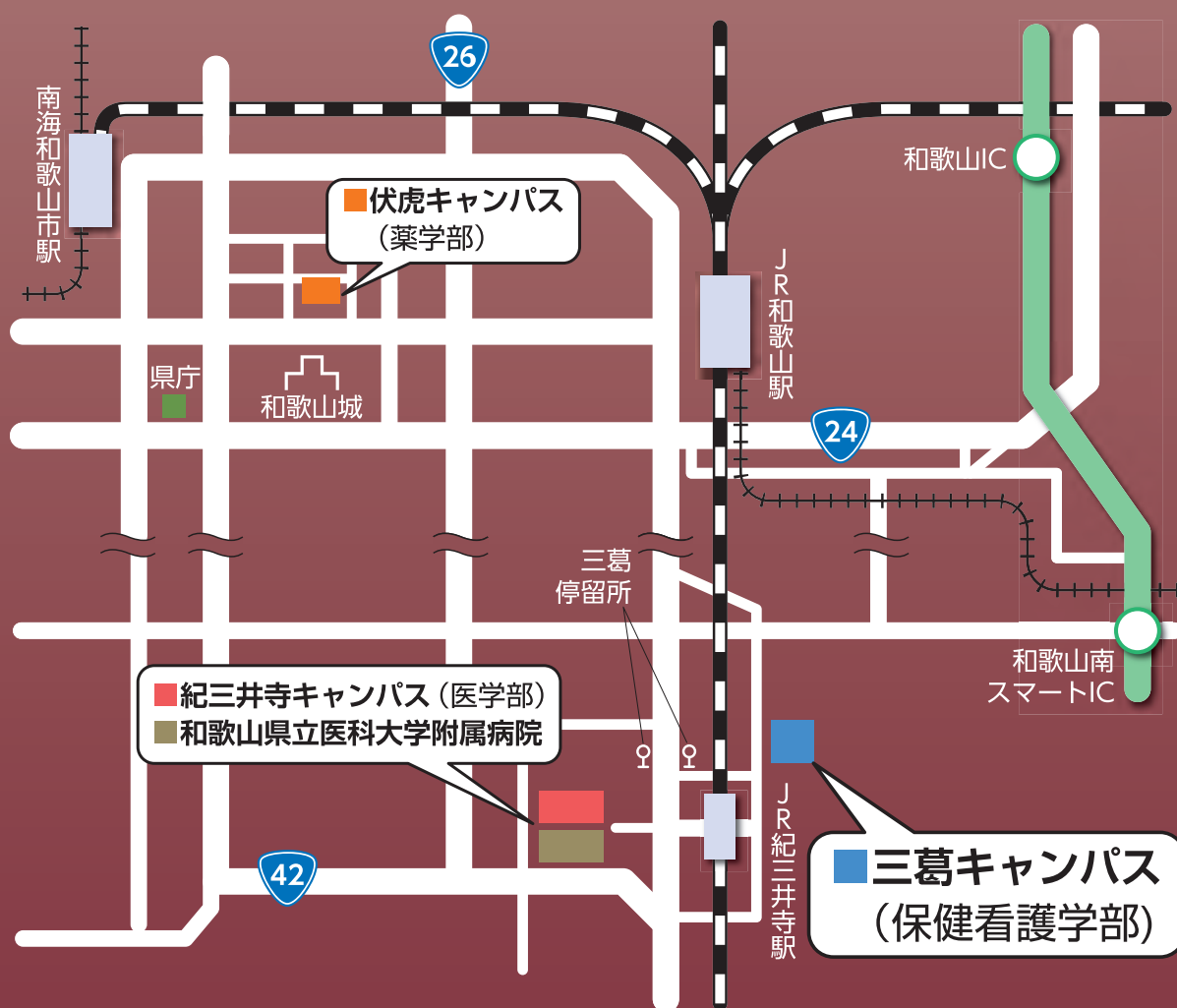
体育館



学生ホール・食堂



大講義室



- 天王寺～和歌山駅 JR 阪和線（快速）約1時間
- JR 紀三井寺駅下車 東口より 徒歩約10分
- JR 和歌山駅より和歌山バス三葛停留所下車 徒歩約10分
- 阪和自動車道 和歌山南SICより 車約10分



公立大学法人
和歌山県立医科大学保健看護学部
大学院保健看護学研究科
助産学専攻科

〒641-0011 和歌山市三葛 580 番地 TEL 073-446-6700 FAX 073-446-6720
<http://www.wakayama-med.ac.jp/dept/hokenkango/index.html>